

マダガスカル国トアマシナ港緊急整備事業

*この業務には、共同企業体の構成員として参加しました。

プロジェクトの概要

発注者：国際協力機構

期間：2009年1月～2010年12月

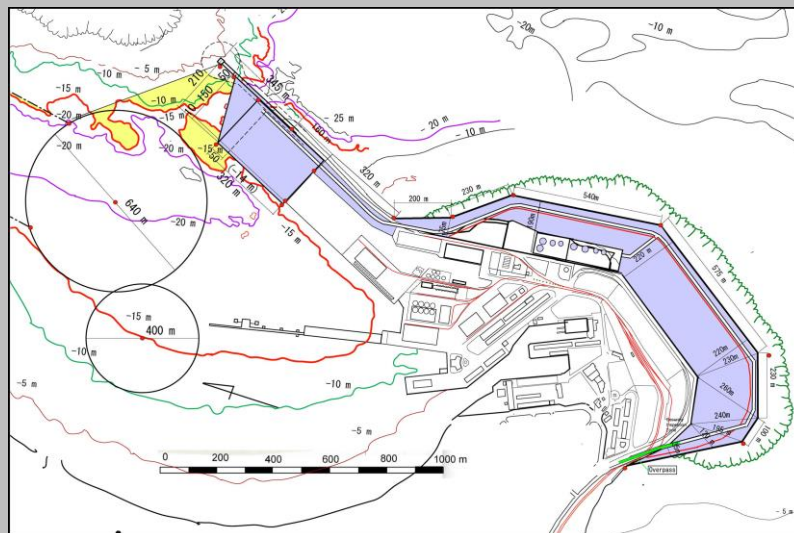
目的：マダガスカル国の輸出入拠点港であるトアマシナ港の施設の整備・拡張と機能強化を図ることを目的として、2020年を目標としたトアマシナ港拡張計画を策定し、そのフィージビリティ調査を実施する。

弊社が担当した活動

担当分野：港湾計画、環境社会配慮

主な内容：

- ▶ トアマシナ港湾区域の土地利用状況の分析
- ▶ 効率的利用のためのゾーニング（バルク貨物とコンテナ貨物の道路分離）
- ▶ 港湾区域内再開発計画と港内道路、鉄道の配置改良案の作成
- ▶ 大気、騒音、水質、底質、動物相（サンゴ礁）などの現況調査
- ▶ 潮流・水質シミュレーション
- ▶ コンテナターミナル、および港湾区域外コンテナヤード提案
- ▶ 環境影響評価およびステークホルダー会議開催支援
- ▶ 優先プロジェクトの実行可能性検討



トアマシナ港施設整備計画

(出典：トアマシナ港緊急整備事業準備調査報告書、JICA、2009年12月)